

平成28年度の事業計画と収支予算が決まりました



第112回組合会のもよう

第112回組合会開催報告

去る2月16日（火）に第112回組合会を開催し、平成28年度の事業計画ならびに収入支出予算が可決・承認されました。

（本文中の予算額等は百万円未満四捨五入で表記しています）

健康保険

一般勘定

概要

**納付金等大幅増も
データヘルス計画推進のための
保健事業の拡充に重点を置く**

平成28年度予算と事業計画は、2月の組合会で承認され、健康保険、介護保険ともに保険料率を維持して予算編成を行いました。保険給付費（医療費等）や高齢者医療制度への納付金等が増え続ける情勢ではありますが、当組合では、健診や医療費データを健康づくりに役立てるデータヘルス計画に基づき、健診事業の拡充と効率的な実施を中心に保健事業を展開することとしています。

後期高齢者支援助金の算定については、総報酬割（収入に応じた負担割合）の全面導入に向けた段階的な移行が進められており、図のように当組合にとって保険給付費、納付金等の支出は年々、負担増となっている状況にあります。

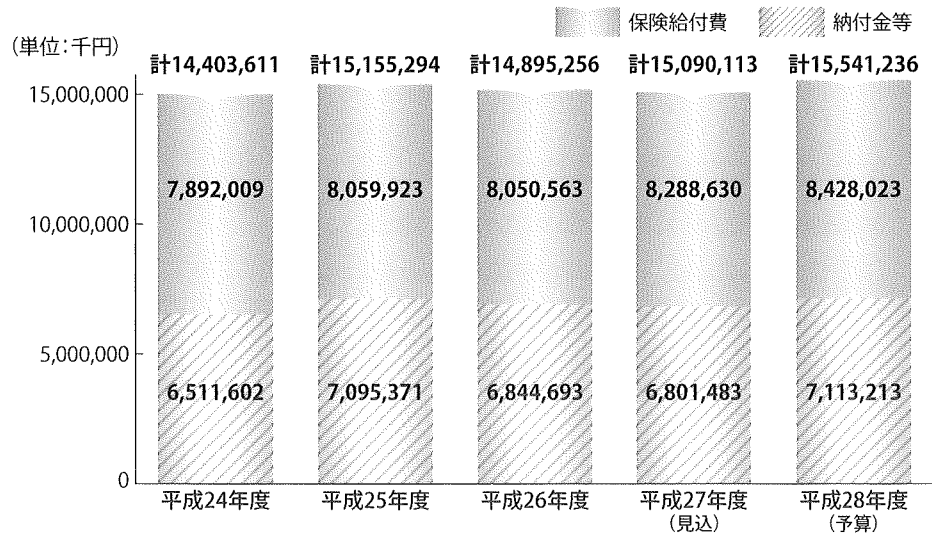
皆様におかれましては健康の保持増進、病気の重症化予防、ジェネリック医薬品の利用等により、医療費の節減に取組まれるとともに、事業運営にご理解ご協力をお願いします。

収入

**被保険者数・標準報酬月額額の増により
保険料収入は3億超の増**

平成28年度の予算編成にあたっての基礎数値

図 保険給付費と納付金等の推移



は、被保険者数を前年度予算比500人増の3万1500人、平均標準報酬月額も2000円増の3万6600円と見込み、引続き保険料率を95%に維持することとしました。保険料収入は同比3億4600万円増の165億2500万円、別途積立金から7億1000万円を繰入れ、収入総額176億7500万円の予算となりました。